ホームページ掲載文

令和８年１１月２３日

【重要】

第７番障害（スインギンググローブ）の高さ設定及び安全に関するお知らせ

選手、指導者の皆様へ

日頃より大会準備および競技運営へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今大会の第７番障害（スインギンググローブ）の仕様および安全確保に向けた運用につきまして、以下の通り事前にお知らせいたします。

１　高さの調整と競技ルールへの適合について

（１）障害設備の構造上の理由から、選手の皆様がより安全かつ公平に競技を行えるよう、プラットフォームの高さ調整により、スインギンググローブの相対的な高さを競技ルールの基準値に近い「259cm」（規定 260cm±10cm）に設定しております。

（２）本仕様につきましては、ＵＩＰＭ（国際近代五種連合）のＴＤ（テクニカルデリゲート）であるアンドレア氏にも事前確認を行い、「ルール上問題なく、安全面において最善の措置である」との公式見解を得ております。

２　競技中の安全に関するお願い（重要）

（１）スインギンググローブは構造上、キャッチを誤って落下した際に手首などの大きな怪我につながるリスクがあります（昨年のワールドカップにおいても、ファーストコンタクトの片手キャッチによる手首の骨折事例が発生しております）。

（２）選手の皆様の安全を最優先に守るため、スインギンググローブの「ファーストコンタクトは両手で確実にキャッチする」よう強くお願いいたします。なお、これは安全確保のための推奨事項であり、片手でキャッチした場合にペナルティを課すものではありません。

３　今後のご案内について

（１）本件の詳細および実際の設備に関する注意事項につきましては、テクニカルミーティング（TM）の場でも改めて直接ご説明いたします。

（２）プラットフォームの嵩上げ処置を行い、同仕様の設備はすでに２週間の試用期間を経て安全性を確認しておりますので、どうぞご安心ください。

選手の皆様が万全の状態で力を発揮できるよう、運営一同、安全管理を徹底してまいります。

ご不明な点やご質問がございましたら、テクニカルミーティング時、または運営スタッフまでお気軽にお声がけください。

大会準備委員会